

凸版印刷と東京大学暦本研究室との共同研究「IoA仮想テレポーテーション」のプロトタイプ展示です。遠隔観光体験、スポーツ観戦・コンサート鑑賞、遠隔就労などの用途を想定しています。

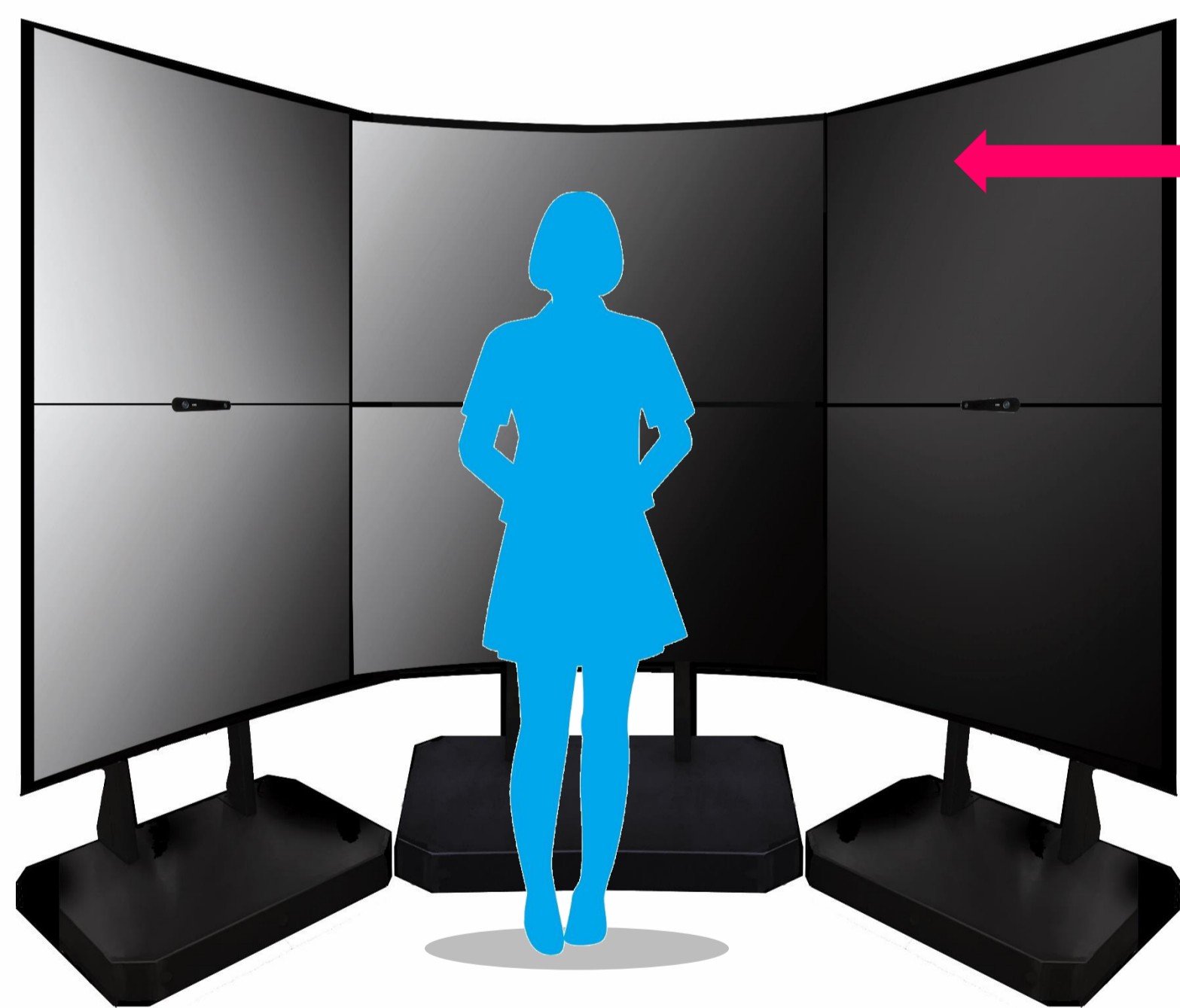
TOPPAN
凸版印刷株式会社

》 特長

- 遠隔地の分身ロボットに乗り移り、その場所に自分が存在するかのように自由に移動できます。
- 分身ロボットのディスプレイに自分の身体が投影され、対面者への自分の存在を強調できます。
- 5Gネットワークにより、高精細かつシームレスな新臨場体験を享受することができます。

IoA (Internet of Abilities : 能力のインターネット) は東京大学大学院情報学環 暦本純一教授により提唱された未来社会基盤で、人間とテクノロジー・AIが一体化し、時間や空間の制約を超えて相互に能力を強化する概念です。

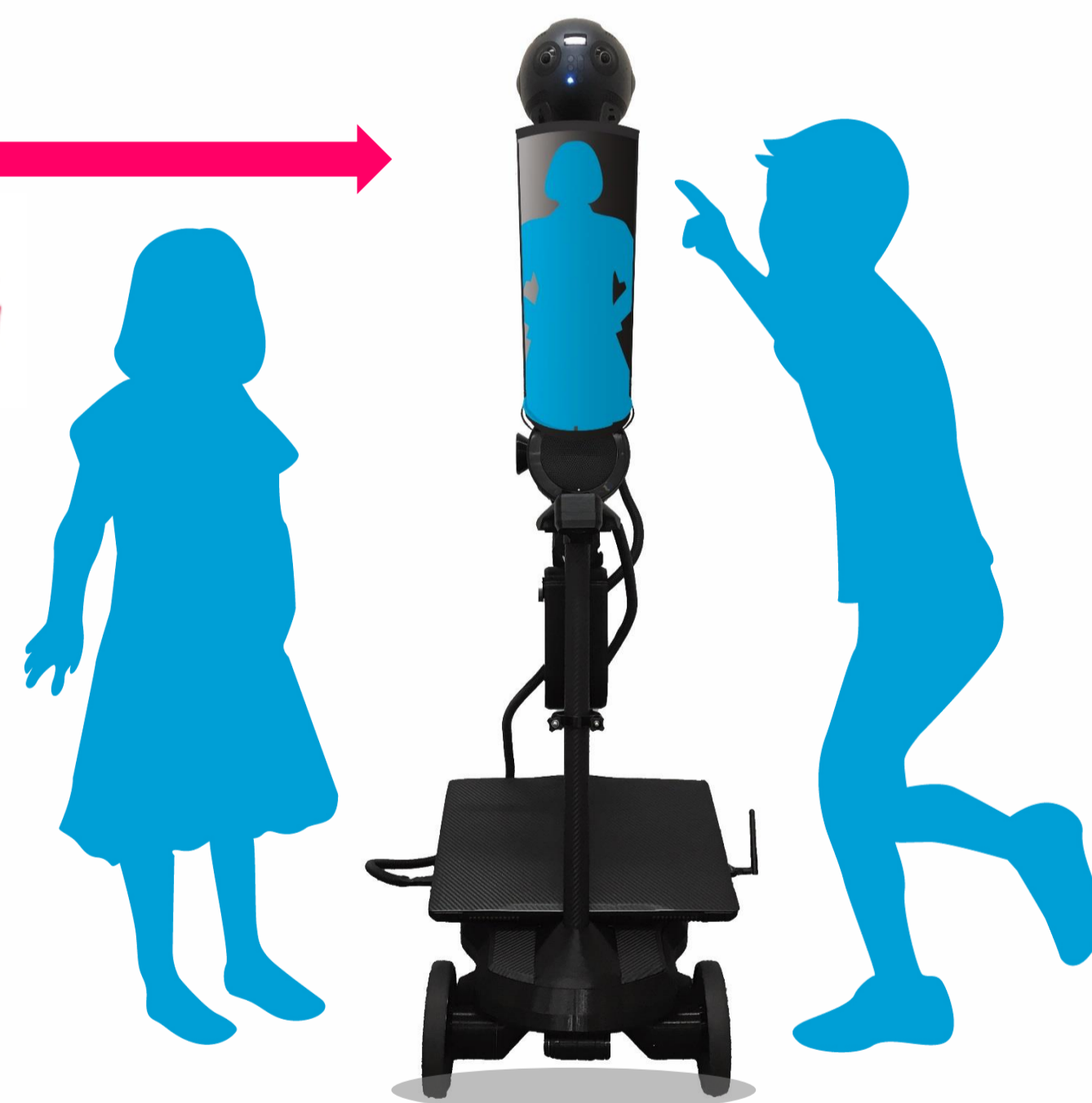
今回、大型伝送ルームと遠隔地の分身ロボットを5Gネットワークで接続し、大型伝送ルーム内のお客さまが分身ロボットへ仮想的な“テレポーテーション”を行い、現地の人びととのコミュニケーションを行うことができる新体験を実現しました。



大型伝送ルーム
OLED製伝送ルーム

NTT docomo 5G

P2P WEB-RTC
リアルタイム
4K映像・音声通信
人物映像伝送処理



分身ロボット
4K360カメラ搭載遠隔操縦ロボット

》 めざす未来

5G時代に向け、凸版印刷は東京大学暦本研究室との共同研究の成果をもとにして、IoA と凸版ソリューションを組み合わせた新しいビジネスを展開していく予定です。